（別紙４）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス静岡敷地教室			
○保護者評価実施期間	2024年　12月　3日	～	2024年　12月　17日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	40名	（回答者数）	24名
○従業者評価実施期間	2024年　12月　3日	～	2024年　12月　7日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4名	（回答者数）	4名
○訪問先施設評価実施期間	年　月　日	～	年　月　日	
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）		（回答数）	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　1月　15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士や保育士といった専門職がそれぞれのお子さまに合った療育プログラムを組んでいる。	それぞれの専門職が情報共有を密に行い運動課題や机上課題のバランスを取りながら子どもが楽しく来所できるよう、課題にお子さまの関心のある題材を取り入れるなどの工夫がなされている。また、一日の取り組みに見通しを持つことができるよう挿絵を用いたわかりやすい課題表を使用している。	当教室が大切に考えている「遊びを通した楽しい時間の中で療育的要素をふんだんに取り入れた内容の支援」を今後も追及していきたい。
2	事業所内で毎日支援検討会を行っている。	朝礼時、前日に支援にあたったお子さまの支援内容や支援目的を担当者が共有し、あらわれや今後の課題について全職員が検討する時間を設けている。職員全員での情報共有が確実に行われることで、支援に対する方向性を一致させている。	定期的な事例検討会などの研修活動に力を入れることで、より適切な支援の提供に努め、指導員一人ひとりのスキルアップにつなげていく。
3	定期的な園訪問を実施し、関係機関との連携をはかっている。	お子さまの様子を多角的に把握できるよう、園訪問を実施し、担任の先生や保護者様と日々の情報共有を行うことで、適切な療育を提供できるよう努めている。また、関係機関からの教室見学にも応じている。	園訪問後の保護者様へフィードバック時に現在の支援目標との照らし合わせを行い、支援者と保護者様で課題を共有することで、支援方針の明確化をはかる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎を行っていない。	送迎員の配置の難しさや、社内に車の用意がないため送迎をすることが難しい。	今後、安全性や効率性を保ちながら送迎を行う仕組みを検討していく。
2	一日あたりの支援時間が短い	一対一の個別療育のため、お子さまの集中力の持続等を考えた際に、長時間の支援に難しさがある。	今後の教室内の枠組みにおいて、職員やご利用者様のご意見を参考にしながら必要に応じて支援時間の検討を行う。
3	保護者の方への非常時等の対応の周知に不足がある。	マニュアル等の配置は行っているが、わかりにくさがあったように感じる。	今後は個別に声をかけたり、見やすいところにマニュアルを配置するなどの工夫を行っていく。